Visual Report

1 千里リハビリテーション病院 アネックス棟

［設計・施工］住友林業㈱

1

「家」のような「木化」病棟
「自宅で暮らす」ためのつくり

「木化」をキーワードにさまざまな施設の木造化・木質化を推進し、木の新しい価値や可能性を広く提案する住友林業㈱では、千里リハビリテーション病院（大阪府箕面市）の「アネックス棟」の設計・施工を手掛け、２０１７年９月に竣工した。

医療法人社団和風会が脳卒中の効果的なリハビリテーションを実践する専門病院として07年10月に開設した同院は、「リハビリテーション・リゾート」というコンセプトのもと、リラックスしてリハビリに取り組める環境づくりを目指してきた。メイン棟は病室12室ごとに1つの「家」と見立てて玄関やリビング、キッチンなどを設け、靴の着脱や調理、和室での歩行など、退院後の自宅での生活を想定したリハビリテーションが実践できる環境を整えてきている。

開院10年めを迎えるにあたり新設されたアネックス棟は、病室34室を擁するとともに、従来のリハビリテーション・リゾートの考え方をさらに深化させ、木造2階建てを選択。総合プロデュース、デザインディレクションにはメイン棟と同様、クリエイティブディレクターの佐

2

3

4

病院開設10周年に合わせ、「木の呼吸が感じられる」アネックス棟を新設

1.アネックス棟のエントランス正面には光庭を設け、木・光・アートで演出／2.34室をもつアネックス棟のほか、2棟のヴィラを配す／3.エントランスの正面にはウッドデッキが広がる／4.外壁にはウエスタンレッドシダー、ウッドデッキには屋久島の地杉を使用